

よみて雪れありかある本紫よ鷹の来りく本居
らりくその雪れ雪よとありあり跡ぐくゆるが即本
紫の雪れ消くる由成べしそ臨のそゆるが又即年れ
来れるあしと云べきく雪消くそ云が鷹のそありく
臨のつそあるあつ中や此例といそ

金葉集

秋

夕され門田の稲葉をつれく芦のまろやよ秋風をよく

千載集

秋

あそもあむ雪風のま川秋をくき雪は月やうそ

風雅集

風あけはくぬるも雪舞く流つ川せば花のふるみ

此外あそ雪くそか三ノ句にて文字あつて後あつくと云ふハ
あつて下ノ句よける稲葉のまつるが即秋風のふく事あて